

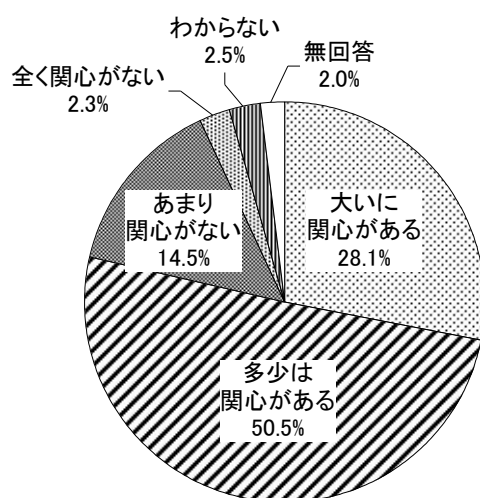
## 9 栃木県の景観まちづくりについて

### (1) 地域の景観に対する関心

問32 あなたは、いまお住まいの地域の景観に関心がありますか。  
次の中から1つ選んでください。

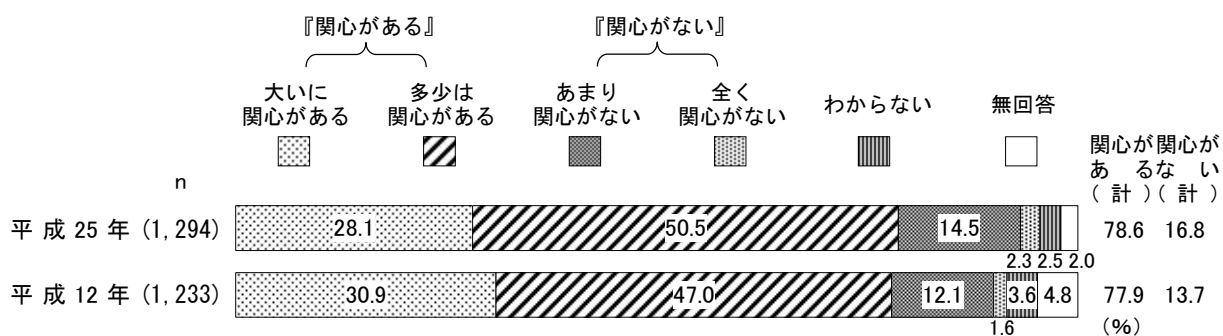
[n=1,294]

1	大いに関心がある	28.1%	4	全く関心がない	2.3%
2	多少は関心がある	50.5%	5	わからない	2.5%
3	あまり関心がない	14.5%		(無回答)	2.0%



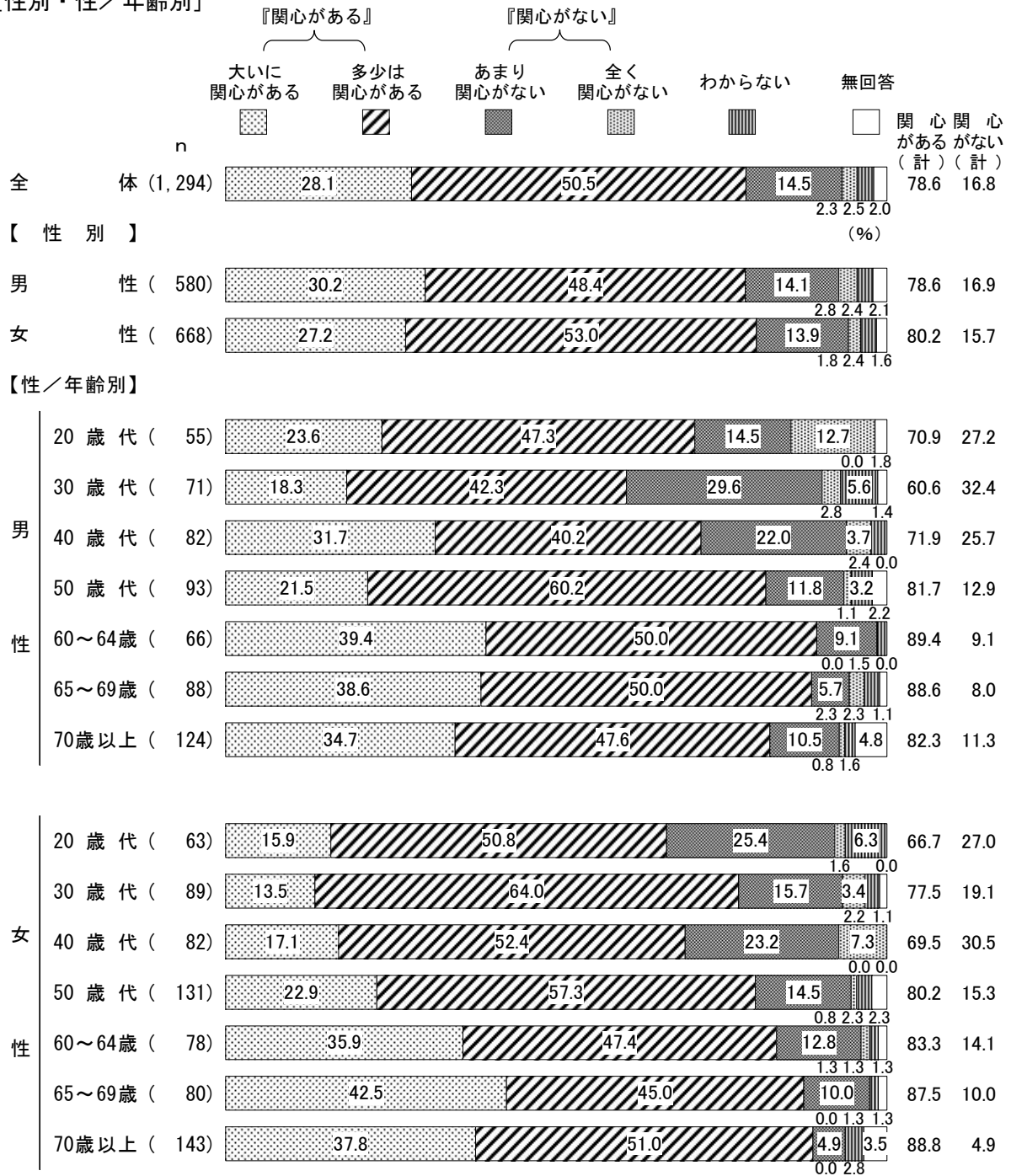
(n=1,294)

全体で見ると、「大いに関心がある」(28.1%)と「多少は関心がある」(50.5%)の2つを合わせた『関心がある』(78.6%)は8割近くとなっている。一方、「あまり関心がない」(14.5%)と「全く関心がない」(2.3%)の2つを合わせた『関心がない』(16.8%)は2割近くとなっている。



平成12年の調査結果と比較すると、『関心がある』の割合はともに8割近くとなっている。

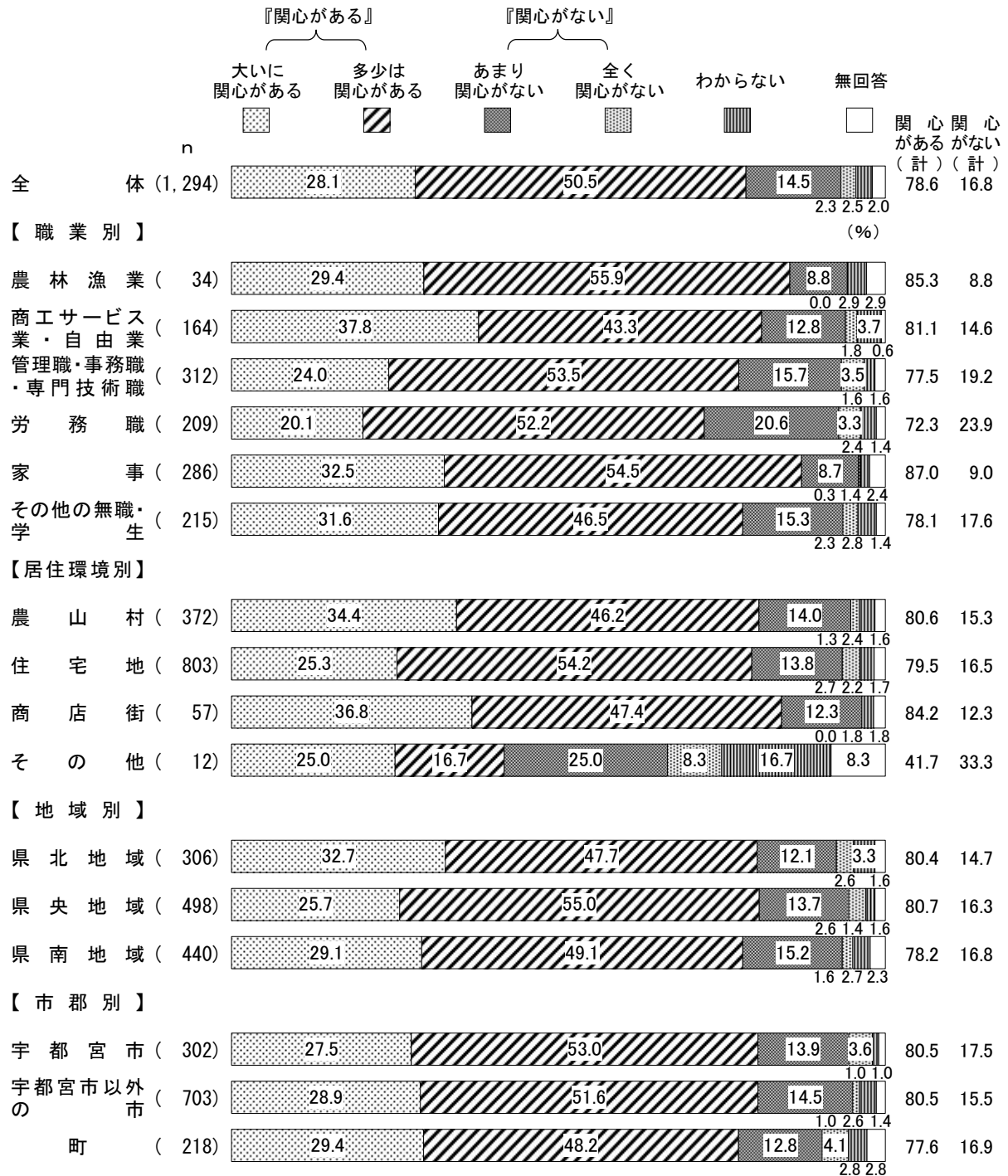
【性別・性／年齢別】



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「大いに興味がある」では〈女性65～69歳〉が42.5%、〈男性60～64歳〉が39.4%と高くなっている。『関心がない』では〈男性30歳代〉が32.4%、〈女性40歳代〉が30.5%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「大いに関心がある」では〈商工サービス業・自由業〉が37.8%と高くなっている。『関心がない』では〈労務職〉が23.9%と高くなっている。

居住環境別でみると、『関心がある』では〈商店街〉が84.2%と、他の居住環境に比べて高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

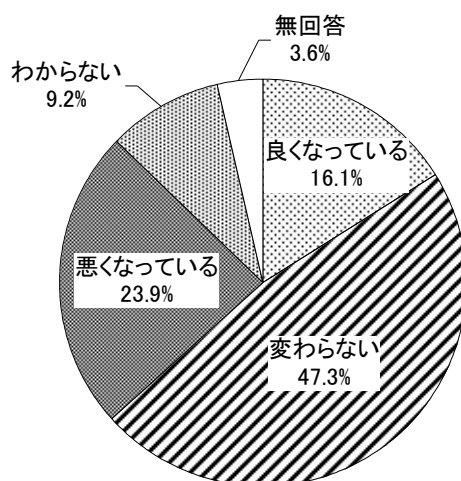
市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

## (2) 身近な景観の変化

問33 あなたの身近な景観は、どのように変化していると感じていますか。  
次の中から1つ選んでください。

[n=1,294]

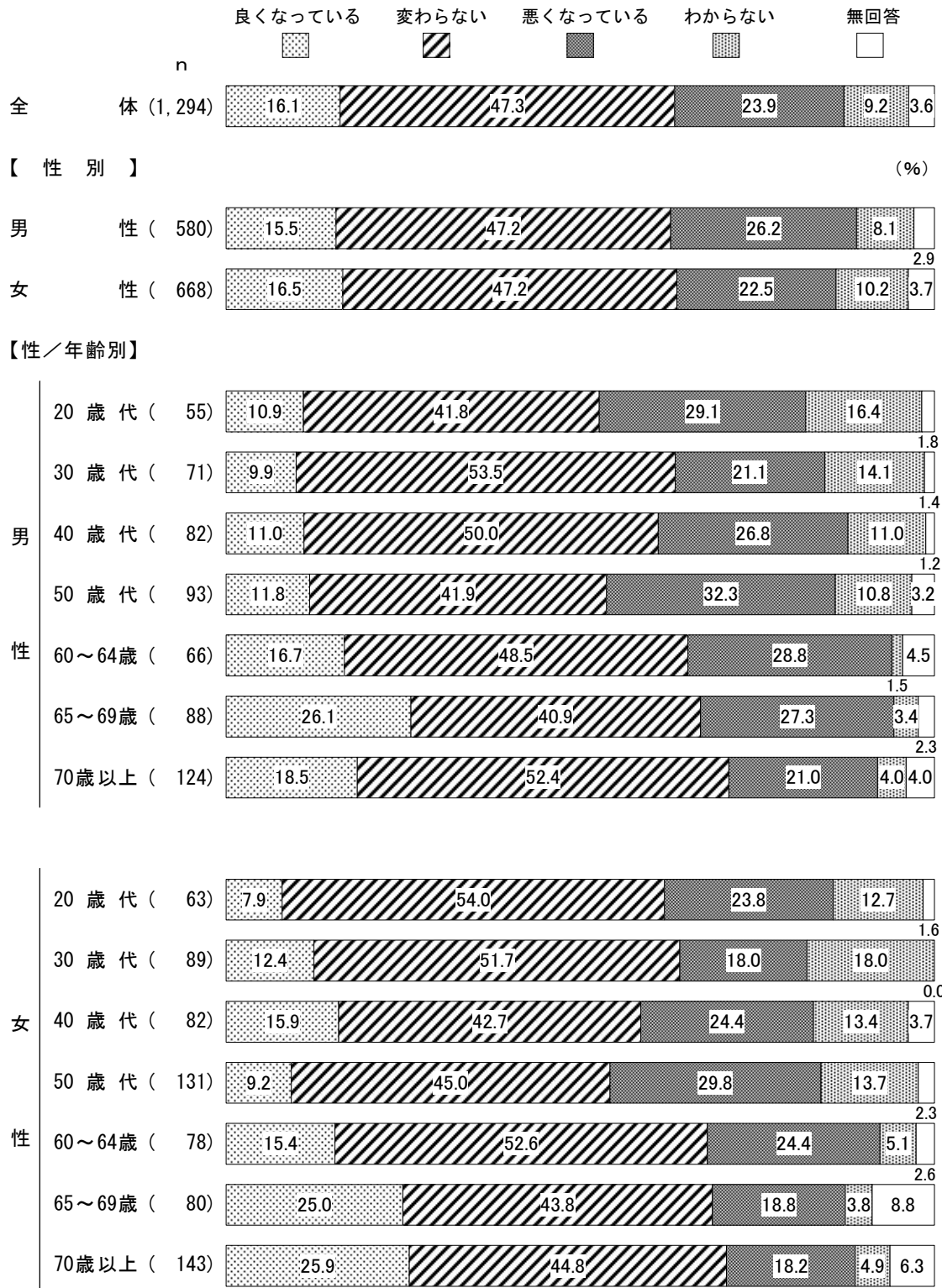
1	良くなっている	16.1%	3	悪くなっている	23.9%
2	変わらない	47.3%	4	わからない	9.2%
				(無回答)	3.6%



(n=1,294)

全体で見ると、「良くなっている」(16.1%)は1割半ばとなっている。「変わらない」(47.3%)は5割近くで、「悪くなっている」(23.9%)は2割を超えている。

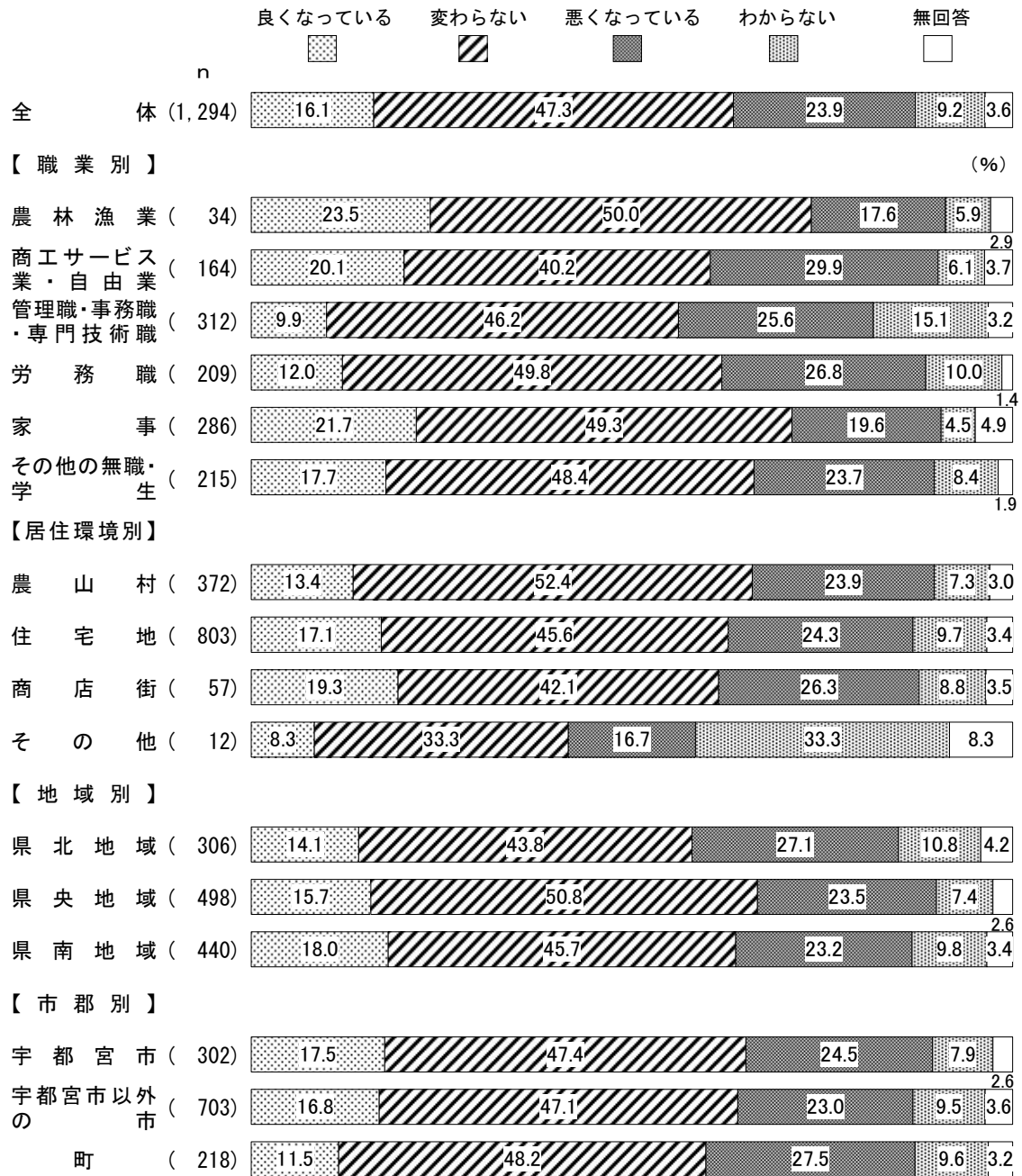
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「良くなっている」では〈男性65～69歳〉と〈女性の65～69歳以上の各年代〉が2割半ばと高くなっている。一方、「悪くなっている」では〈男性50歳代〉が32.3%と他の年代に比べて高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「良くなっている」では〈農林漁業〉が23.5%、「悪くなっている」では〈商工サービス業・自由業〉が29.9%と、他の職業に比べて高くなっている。

居住環境別でみると、「良くなっている」では〈商店街〉が19.3%と、他の居住環境に比べて高くなっている。

地域別でみると、「良くなっている」では〈県南地域〉が18.0%と、他の地域に比べて高くなっている。

市郡別でみると、「良くなっている」では〈宇都宮市〉が17.5%、〈宇都宮市以外の市〉が16.8%と、〈町〉に比べて高くなっている。

### (3) 景観を悪くしている原因

問34 景観を悪くするものは、どのようなものだと思いますか。

次の中から3つまで選んでください。

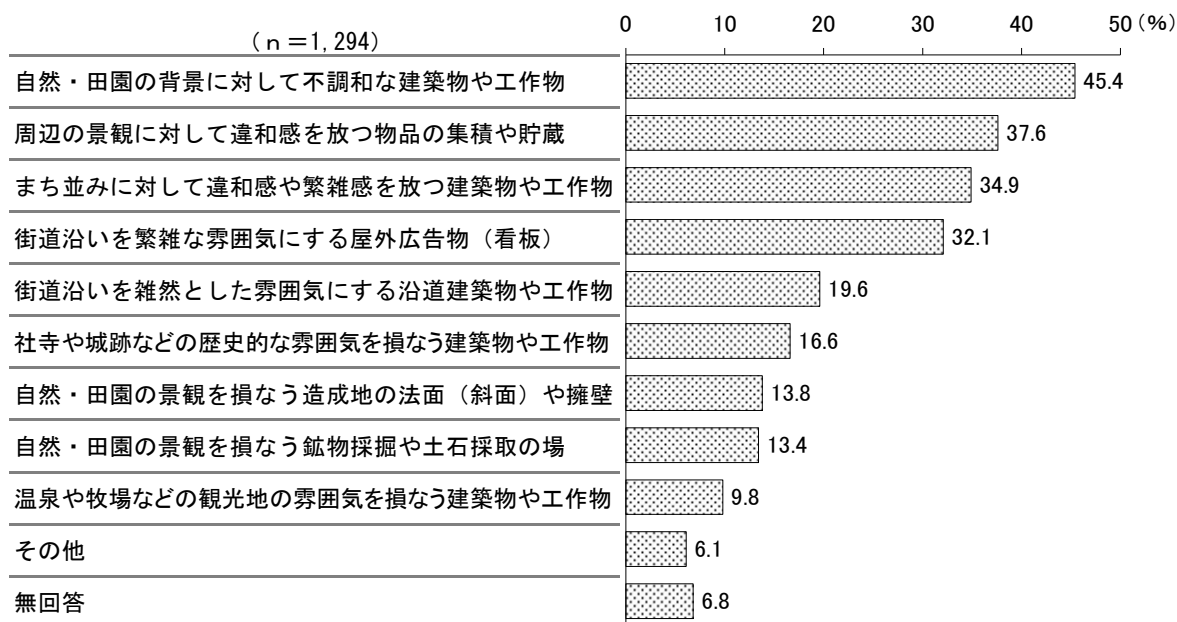
[n=1,294]

1	自然・田園の背景に対して不調和な建築物や工作物（※1）	45.4%
2	社寺や城跡などの歴史的な雰囲気損なう建築物や工作物	16.6
3	温泉や牧場などの観光地の雰囲気損なう建築物や工作物	9.8
4	まち並みに対して違和感や繁雑感を放つ建築物や工作物	34.9
5	街道沿いを雑然とした雰囲気にする沿道建築物（※2）や工作物	19.6
6	街道沿いを繁雑な雰囲気にする屋外広告物（看板）	32.1
7	周辺の景観に対して違和感を放つ物品（※3）の集積や貯蔵	37.6
8	自然・田園の景観を損なう造成地の法面（斜面）や擁壁	13.8
9	自然・田園の景観を損なう鉱物採掘や土石採取の場	13.4
10	その他	6.1
	（無回答）	6.8

※1：煙突、鉄塔、柵や塀など

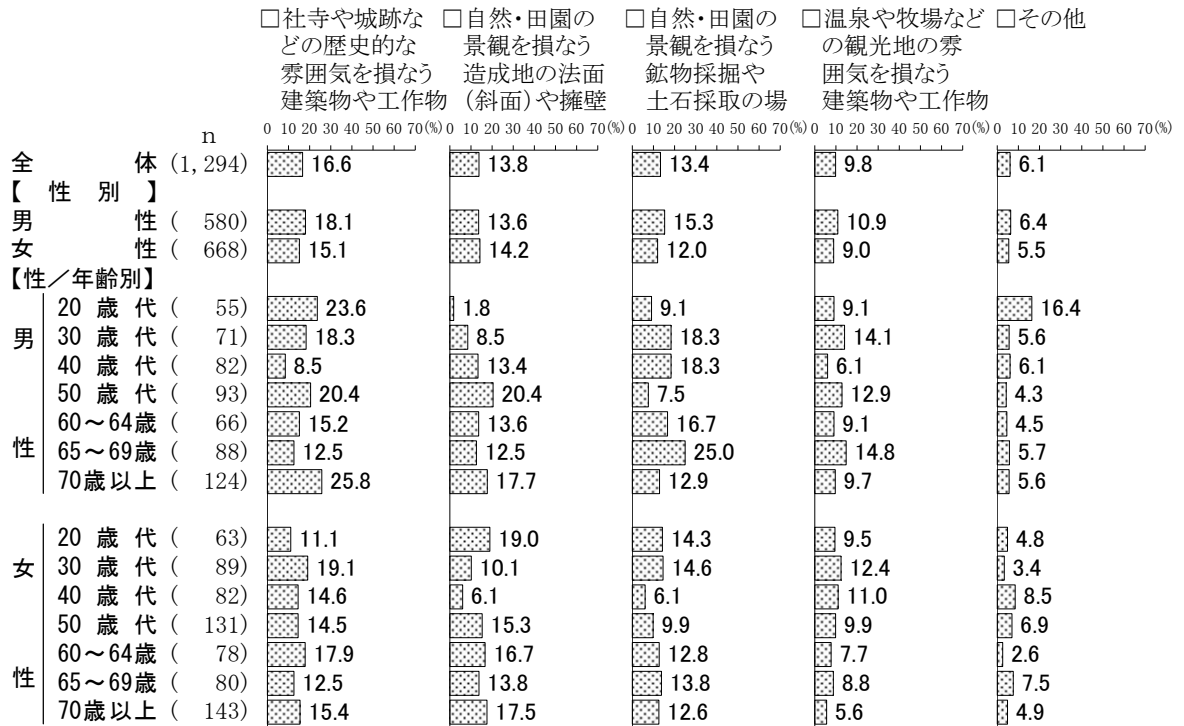
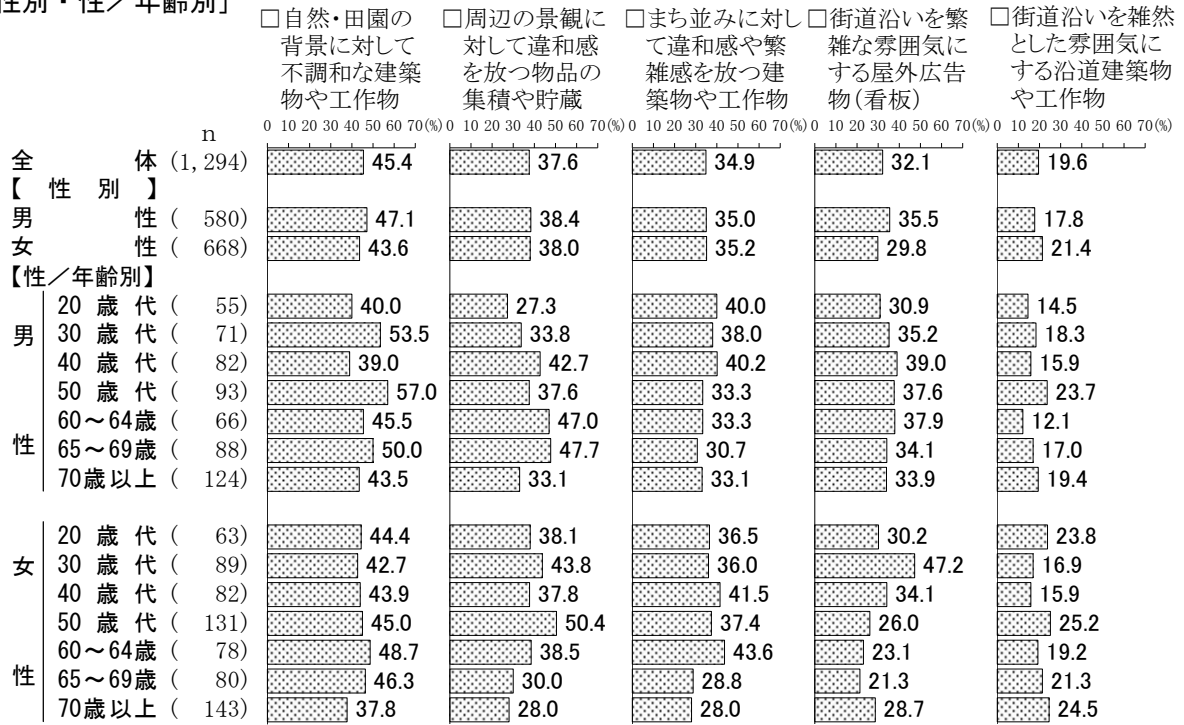
※2：街道に立地するサービス店舗など

※3：コンテナやスクラップ類など



全体で見ると、「自然・田園の背景に対して不調和な建築物や工作物」（45.4%）が4割半ばで最も高く、次いで「周辺の景観に対して違和感を放つ物品の集積や貯蔵」（37.6%）、「まち並みに対して違和感や繁雑感を放つ建築物や工作物」（34.9%）、「街道沿いを繁雑な雰囲気にする屋外広告物（看板）」（32.1%）、「街道沿いを雑然とした雰囲気にする沿道建築物や工作物」（19.6%）の順となっている。

[性別・性／年齢別]

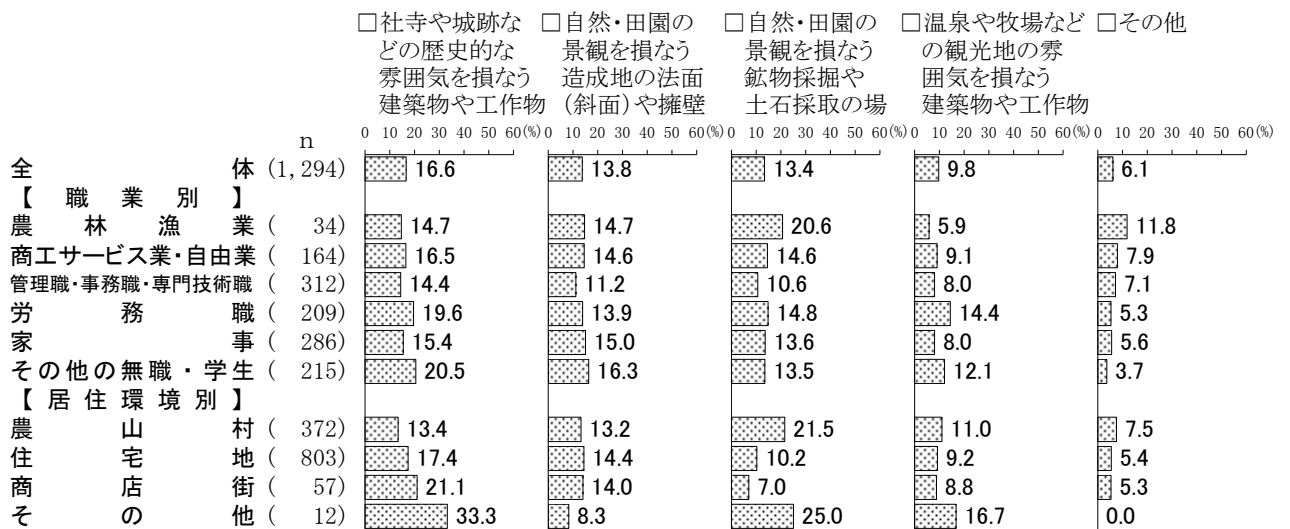
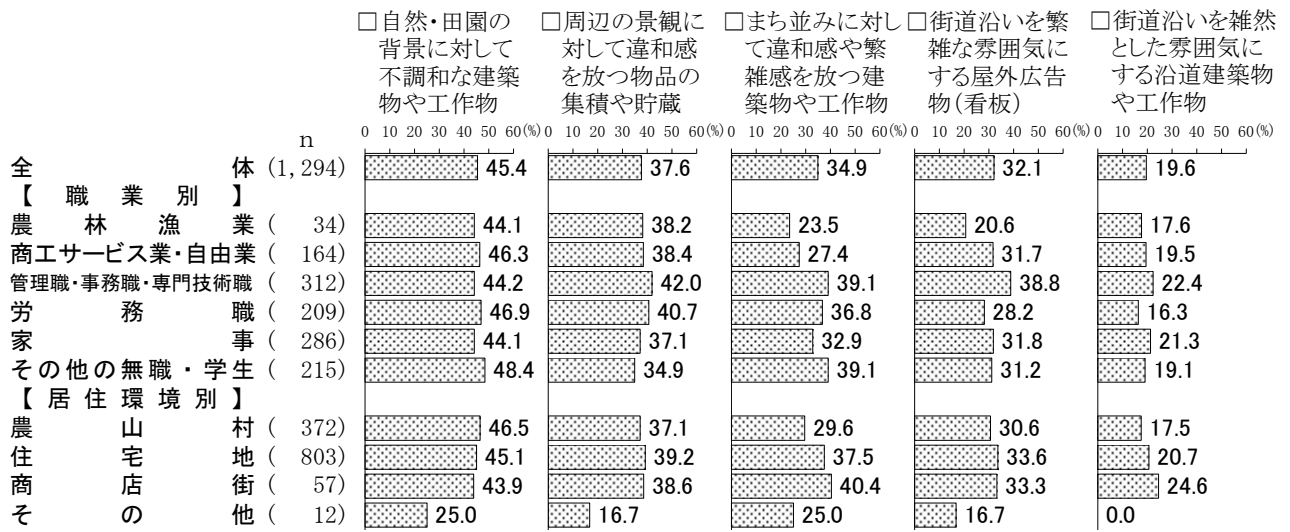


性別でみると、「街道沿いを繁雑な雰囲気にする屋外広告物（看板）」では〈男性〉（35.5%）が〈女性〉（29.8%）より5.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「自然・田園の背景に対して不調和な建築物や工作物」では〈男性50歳代〉が57.0%と高くなっている。「周辺の景観に対して違和感を放つ物品の集積や貯蔵」では〈女性50歳代〉が50.4%と高く、「街道沿いを繁雑な雰囲気にする屋外広告物（看板）」では〈女性30歳代〉が47.2%と高くなっている。



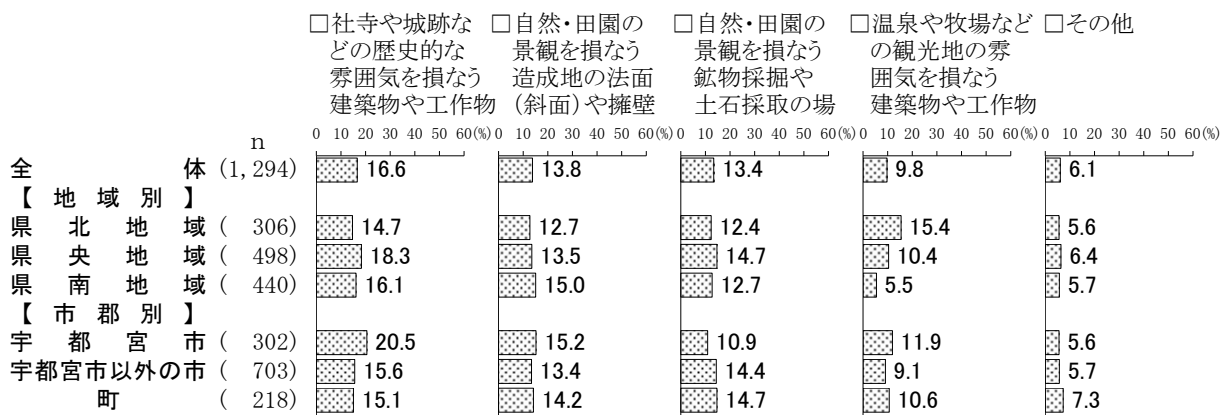
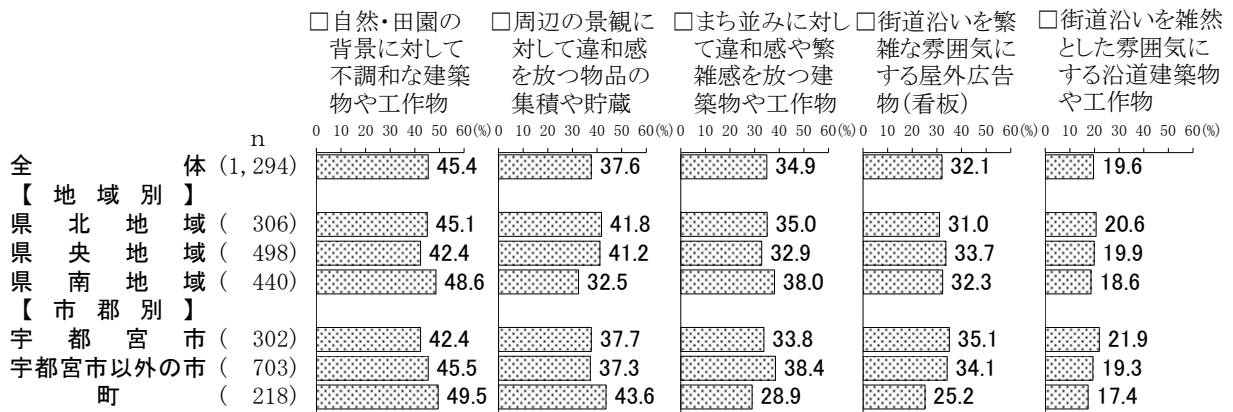
[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「街道沿いを繁雑な雰囲気にする屋外広告物（看板）」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が38.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「まち並みに対して違和感や繁雑感を放つ建築物や工作物」では〈商店街〉が40.4%、「街道沿いを雑然とした雰囲気にする沿道建築物や工作物」では〈商店街〉が24.6%と他の居住環境に比べて高くなっている。「自然・田園の景観を損なう鉱物採掘や土石採取の場」では〈農山村〉が21.5%と高くなっている。

[地域別・市郡別]



地域別でみると、「自然・田園の背景に対して不調和な建築物や工作物」では〈県南地域〉が48.6%、「まち並みに対して違和感や繁雑感を放つ建築物や工作物」では〈県南地域〉が38.0%と、他の地域に比べて高くなっている。「温泉や牧場などの観光地の雰囲気を損なう建築物や工作物」では〈県北地域〉が15.4%と高くなっている。

市郡別でみると、「自然・田園の背景に対して不調和な建築物や工作物」では〈町〉が49.5%と、〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉に比べて高くなっている。また、「まち並みに対して違和感や繁雑感を放つ建築物や工作物」では〈宇都宮市以外の市〉が38.4%と、〈宇都宮市〉や〈町〉と比べて高くなっている。

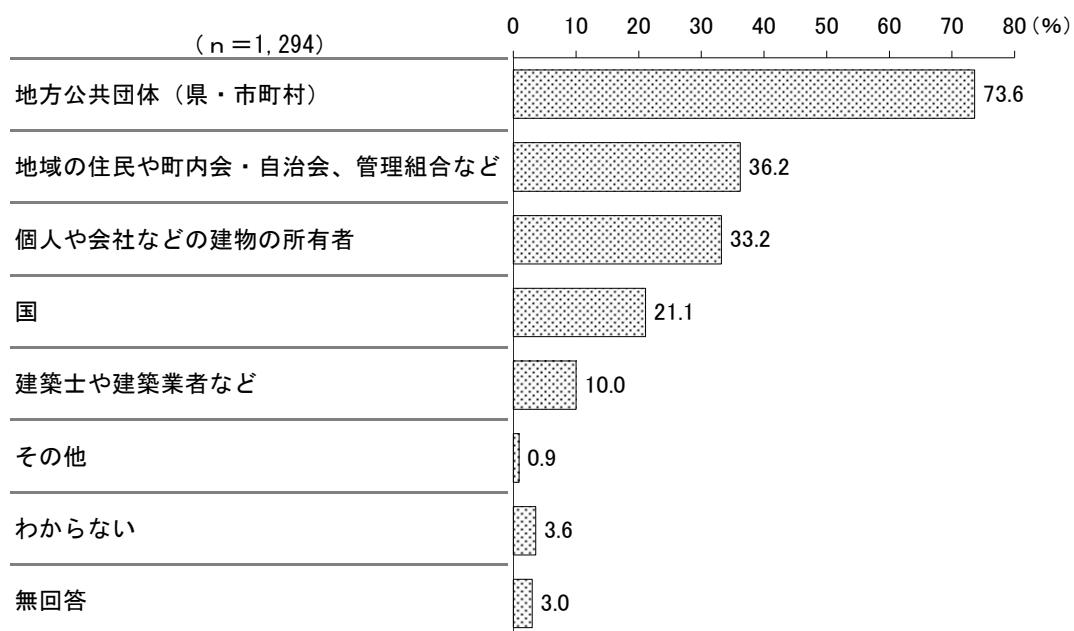
#### (4) 景観を良くするために取り組むべき主体

問35 景観を良くするために、誰が主体的に取り組むべきだと思いますか。

次の中から2つ選んでください。

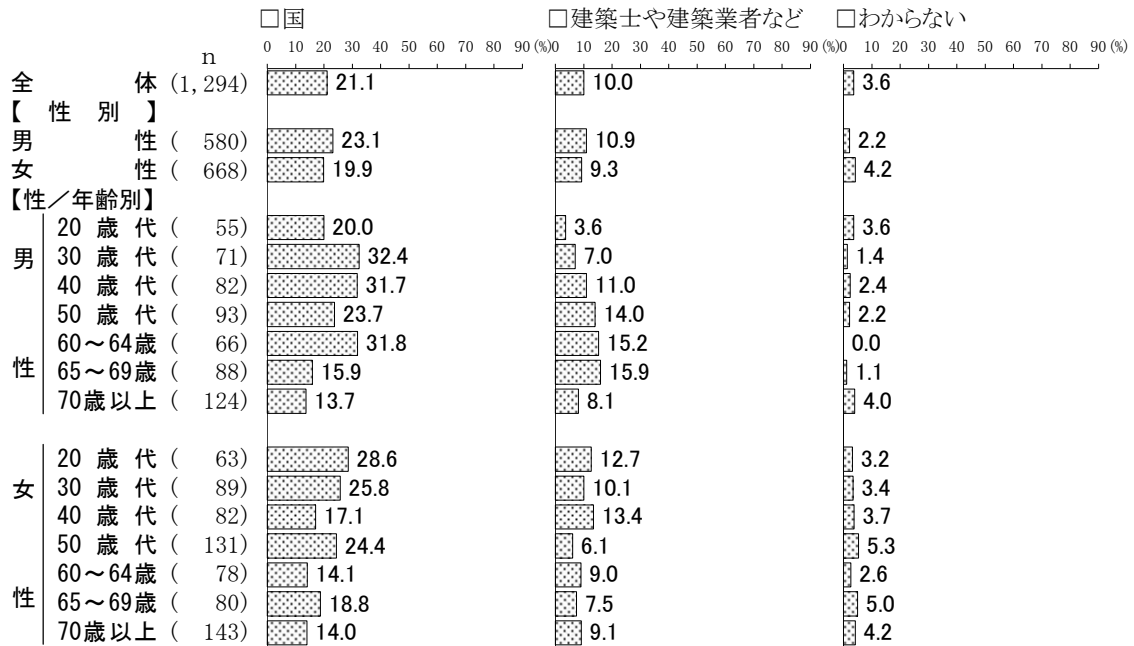
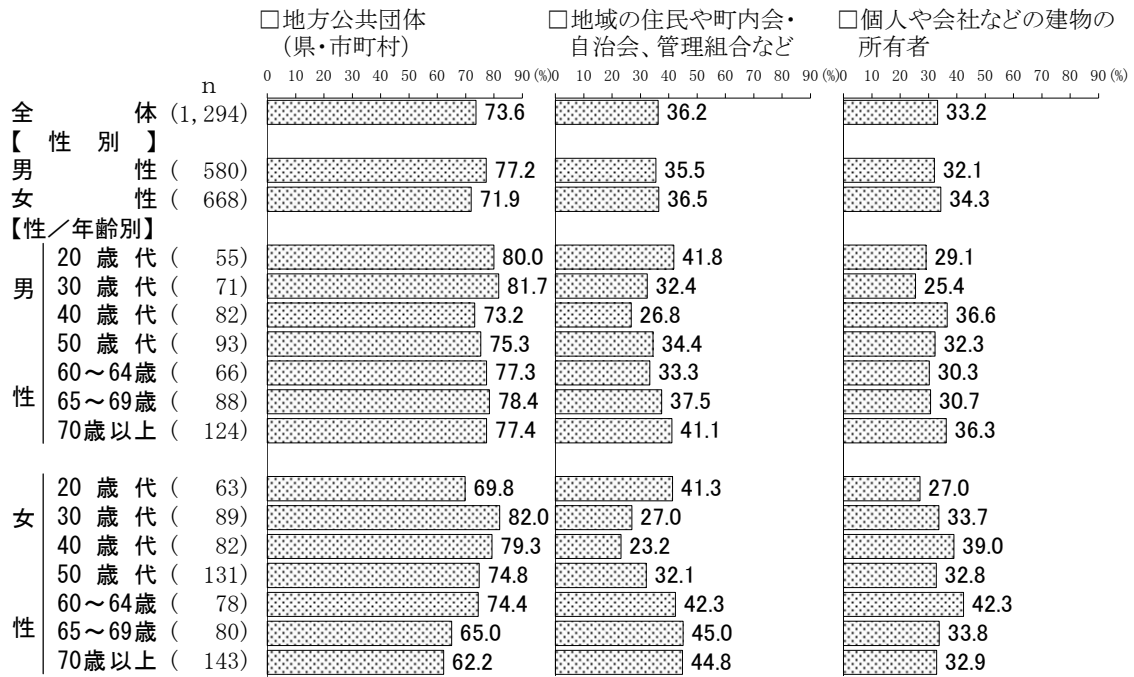
[n=1,294]

1	個人や会社などの建物の所有者	33.2%
2	建築士や建築業者など	10.0
3	地域の住民や町内会・自治会、管理組合など	36.2
4	地方公共団体（県・市町村）	73.6
5	国	21.1
6	その他	0.9
7	わからない	3.6
	(無回答)	3.0



全体で見ると、「地方公共団体（県・市町村）」（73.6%）が7割を超えて最も高く、次いで「地域の住民や町内会・自治会、管理組合など」（36.2%）、「個人や会社などの建物の所有者」（33.2%）、「国」（21.1%）、「建築士や建築業者など」（10.0%）の順となっている。

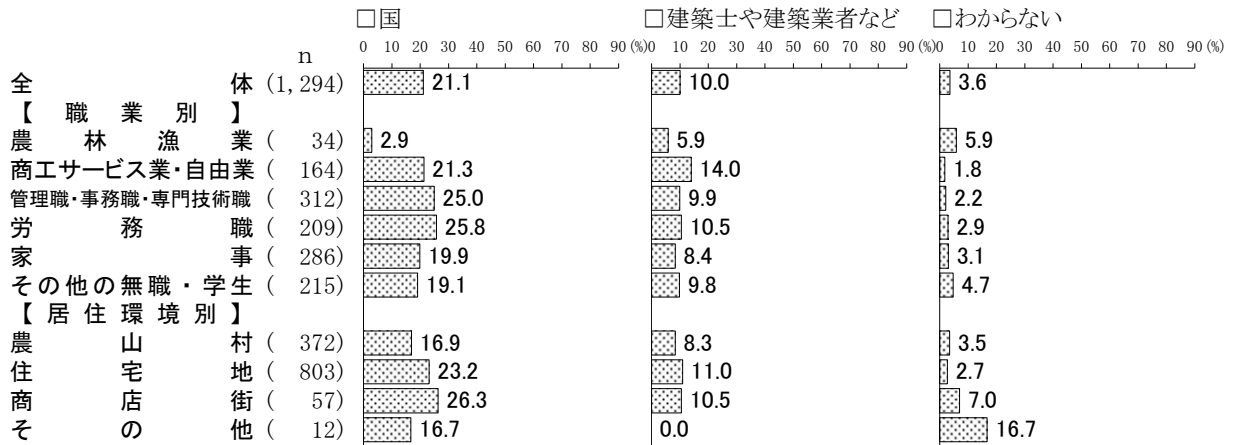
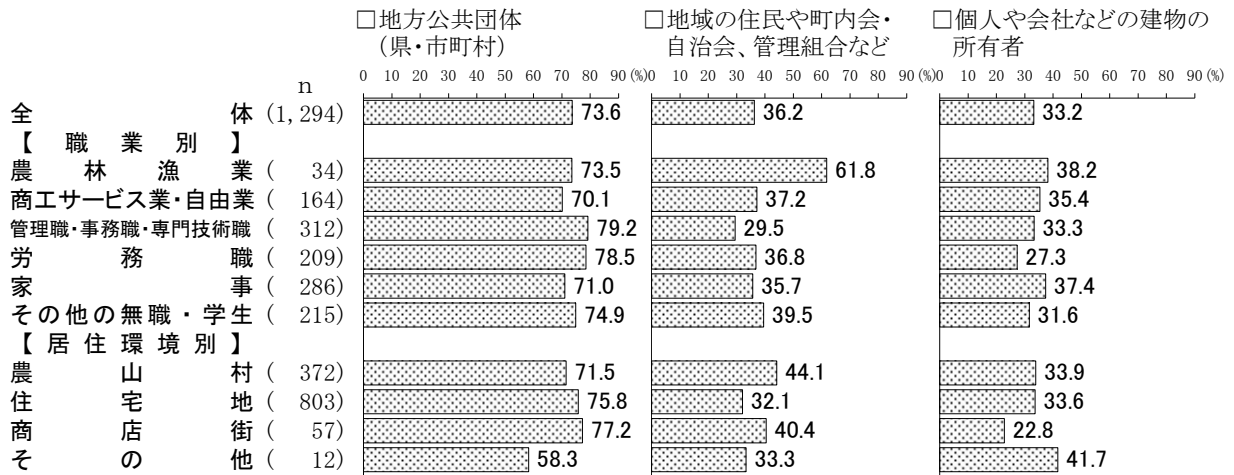
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「地方公共団体（県・市町村）」では〈男性〉（77.2%）が〈女性〉（71.9%）より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「地域の住民や町内会・自治会、管理組合など」では〈女性65~69歳〉が45.0%、〈女性70歳以上〉が44.8%と高くなっている。「個人や会社などの建物の所有者」では〈女性60~64歳〉が42.3%と、他の年代に比べて高くなっている。「国」では〈男性30歳代〉が32.4%、〈男性60~64歳〉が31.8%、〈男性40歳代〉が31.7%と高くなっている。

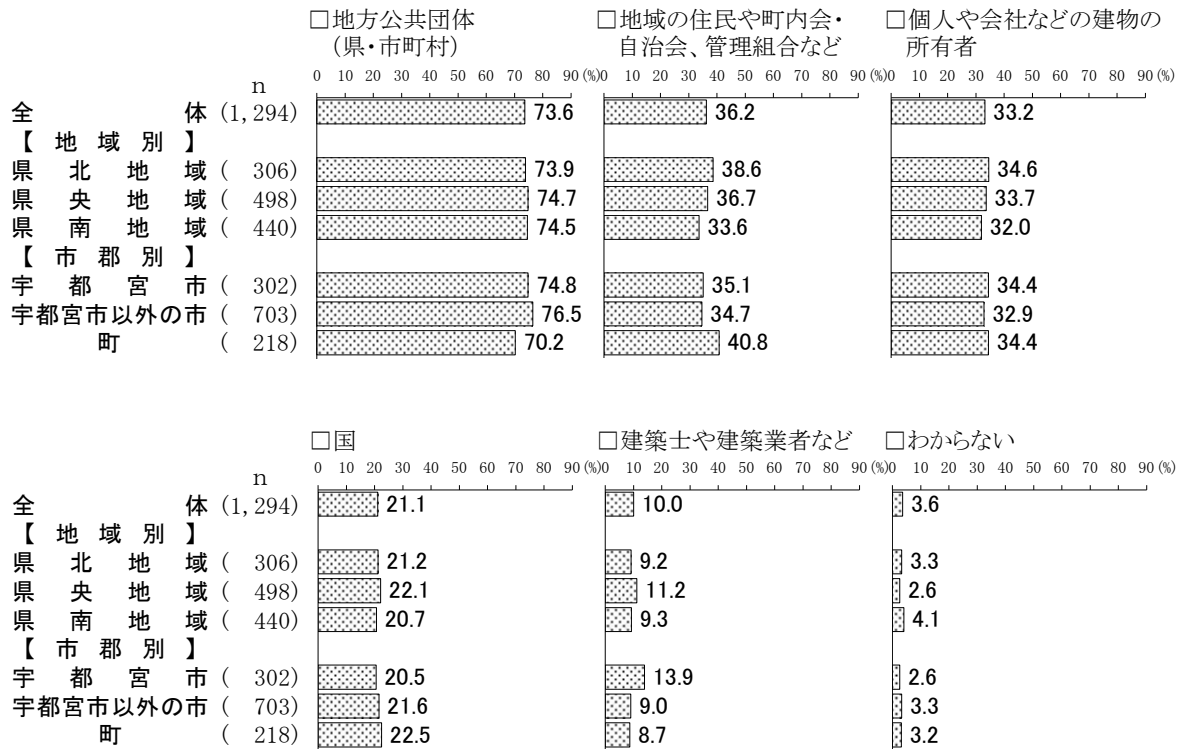
[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「地域の住民や町内会・自治会、管理組合など」では〈農林漁業〉が61.8%と高くなっている。

居住地域別でみると、「地域の住民や町内会・自治会、管理組合など」では〈農山村〉が44.1%と高くなっている。「国」では〈商店街〉が26.3%と、他の居住環境に比べて高くなっている。

[地域別・市郡別]



地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

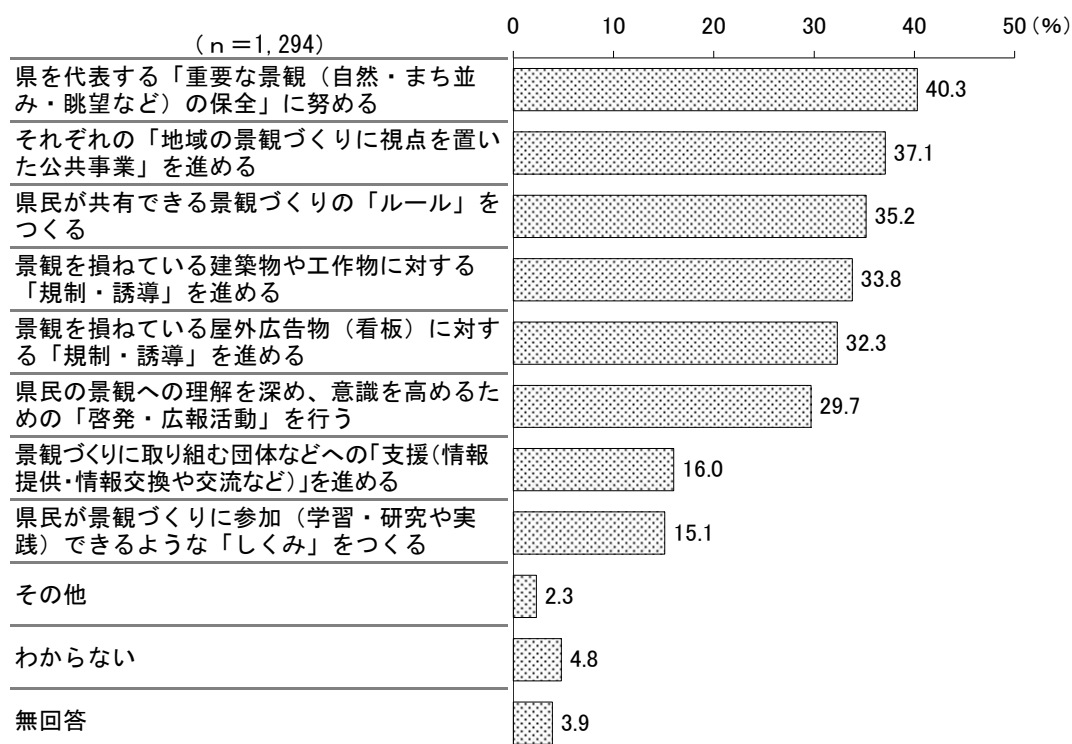
市郡別でみると、「地域の住民や町内会・自治会、管理組合など」では〈町〉が40.8%と、〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉に比べて高くなっている。

## (5) 景観づくりを進めていくための行政の取組

問36 県内の景観づくりを進めていくために、行政としては特に何に力を入れるべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

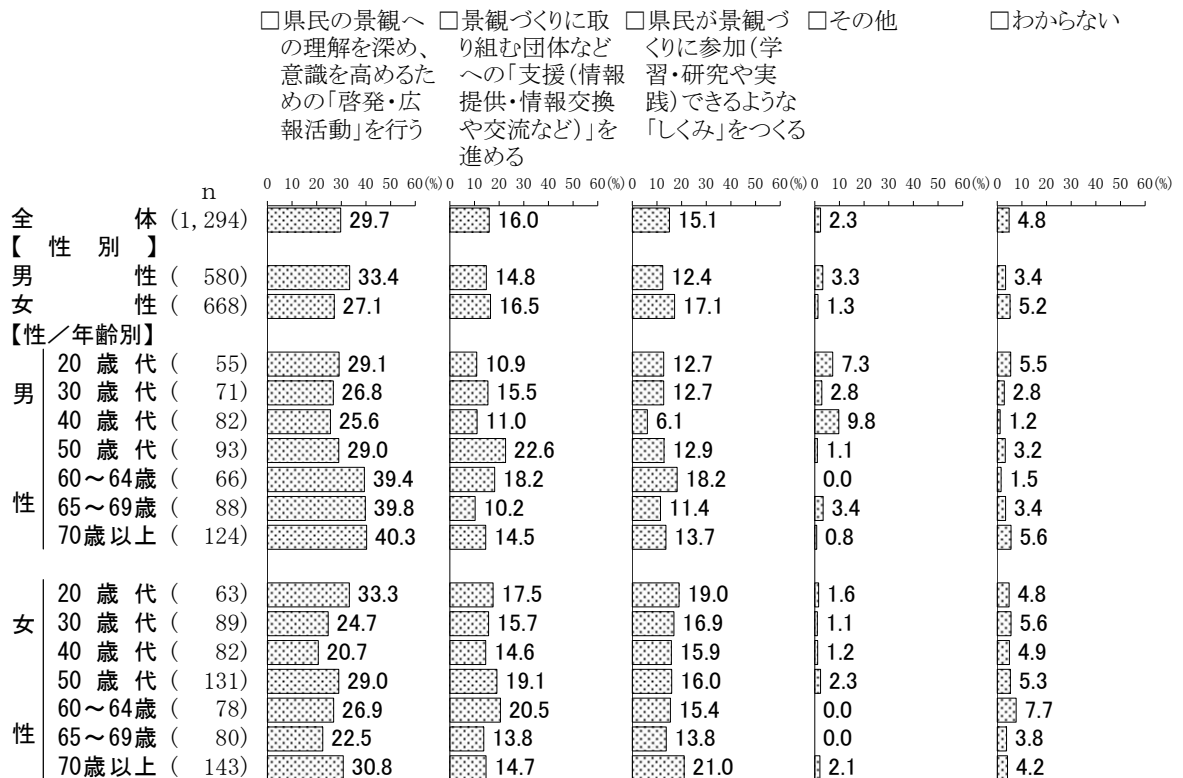
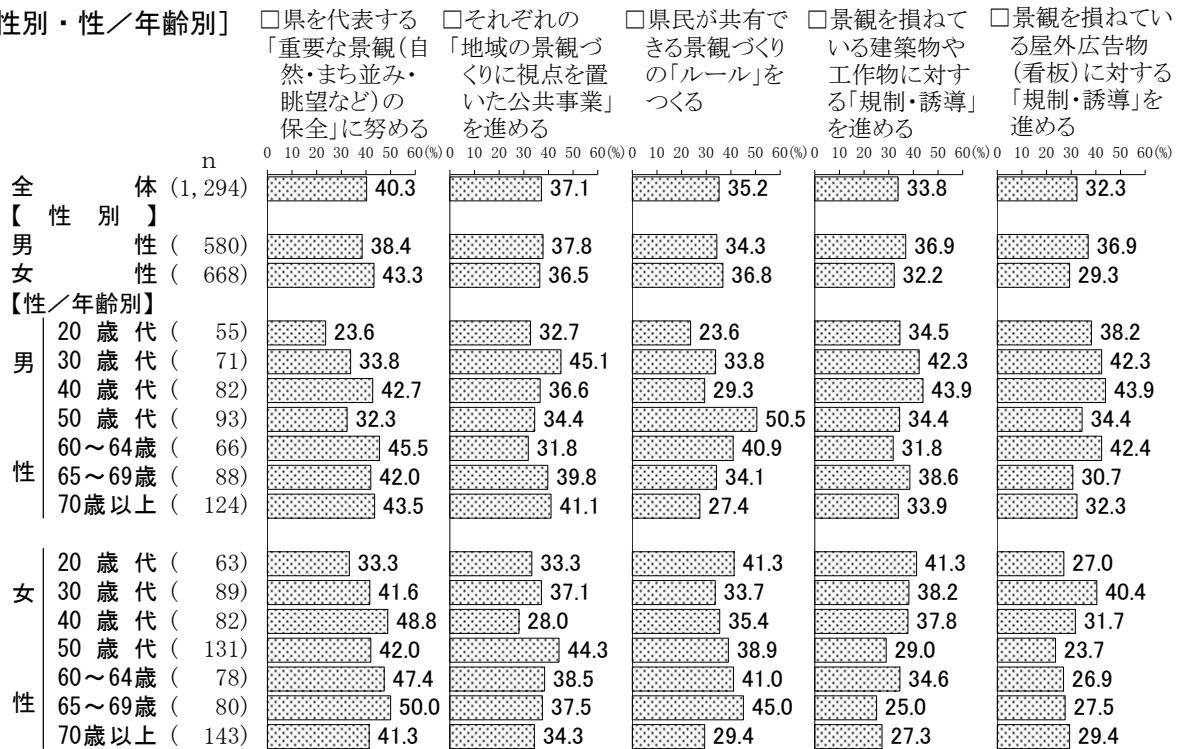
[n=1,294]

1	それぞれの「地域の景観づくりに視点を置いた公共事業」を進める	37.1%
2	県民の景観への理解を深め、意識を高めるための「啓発・広報活動」を行う	29.7
3	景観を損ねている建築物や工作物に対する「規制・誘導」を進める	33.8
4	景観を損ねている屋外広告物（看板）に対する「規制・誘導」を進める	32.3
5	県民が共有できる景観づくりの「ルール」をつくる	35.2
6	県民が景観づくりに参加（学習・研究や実践）できるような「しくみ」をつくる	15.1
7	景観づくりに取り組む団体などへの「支援（情報提供・情報交換や交流など）」を進める	16.0
8	県を代表する「重要な景観（自然・まち並み・眺望など）の保全」に努める	40.3
9	その他	2.3
10	わからない	4.8
	（無回答）	3.9



全体で見ると、「県を代表する『重要な景観（自然・まち並み・眺望など）の保全』に努める」（40.3%）が4割で最も高く、次いで「それぞれの『地域の景観づくりに視点を置いた公共事業』を進める」（37.1%）、「県民が共有できる景観づくりの『ルール』をつくる」（35.2%）、「景観を損ねている建築物や工作物に対する『規制・誘導』を進める」（33.8%）の順となっている。

[性別・性/年齢別]

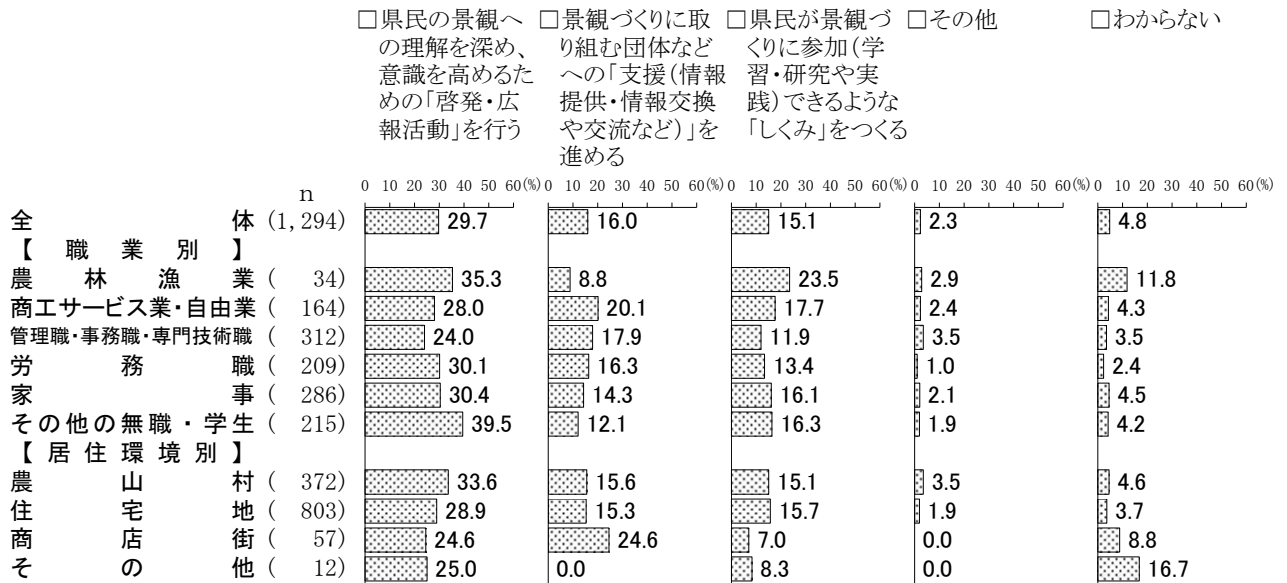
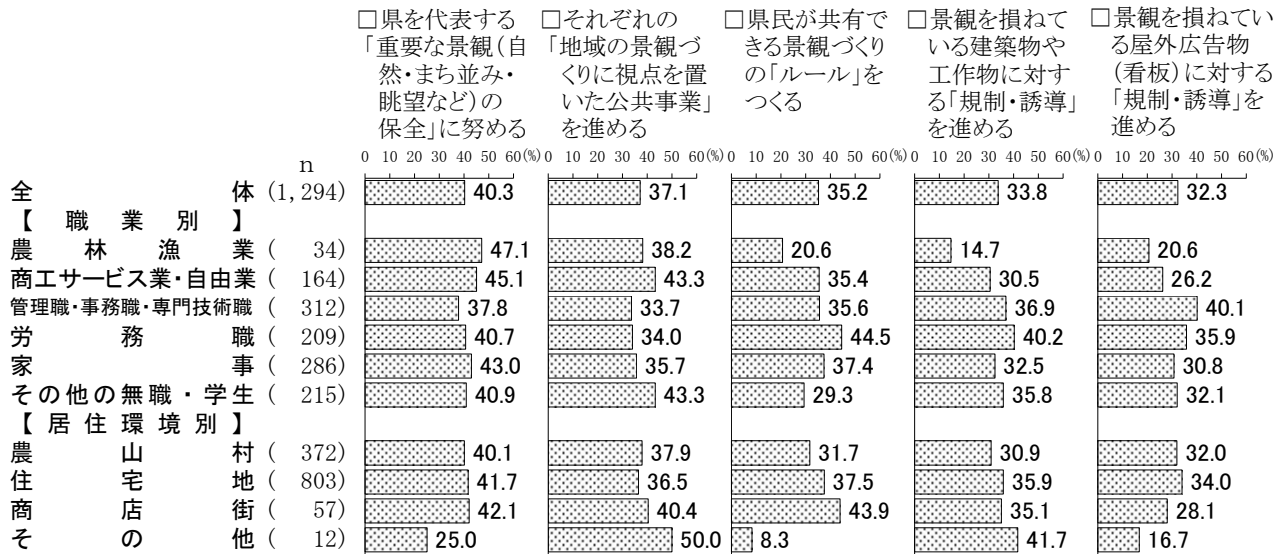


性別でみると、「景観を損ねている屋外広告物(看板)に対する『規制・誘導』を進める」では〈男性〉(36.9%)が〈女性〉(29.3%)より7.6ポイント高く、「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈男性〉(33.4%)が〈女性〉(27.1%)より6.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「県民が共有できる景観づくりの『ルール』をつくる」では〈男性50歳代〉が50.5%と高くなっている。「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈男性の60~64歳以上の各年代〉が4割前後と高くなっている。



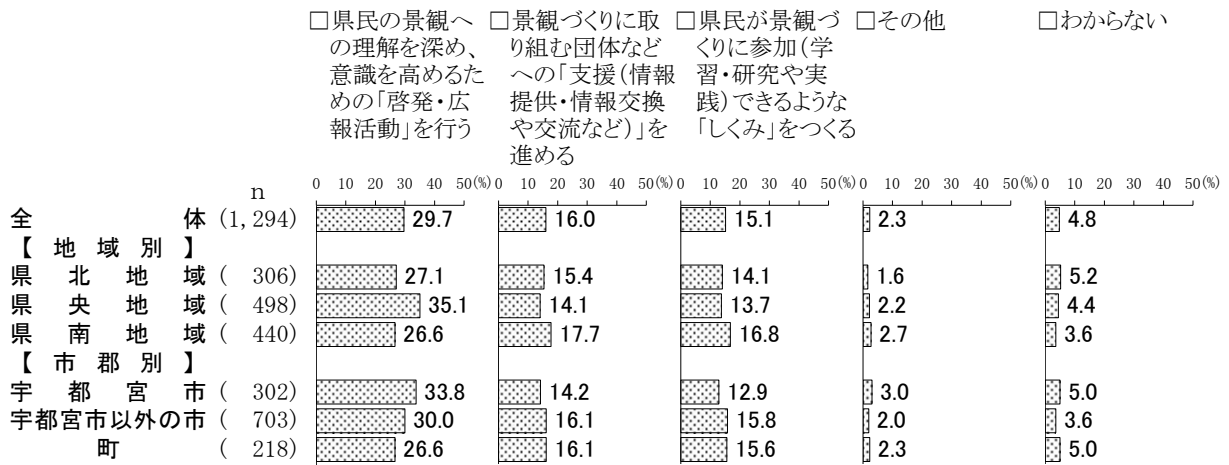
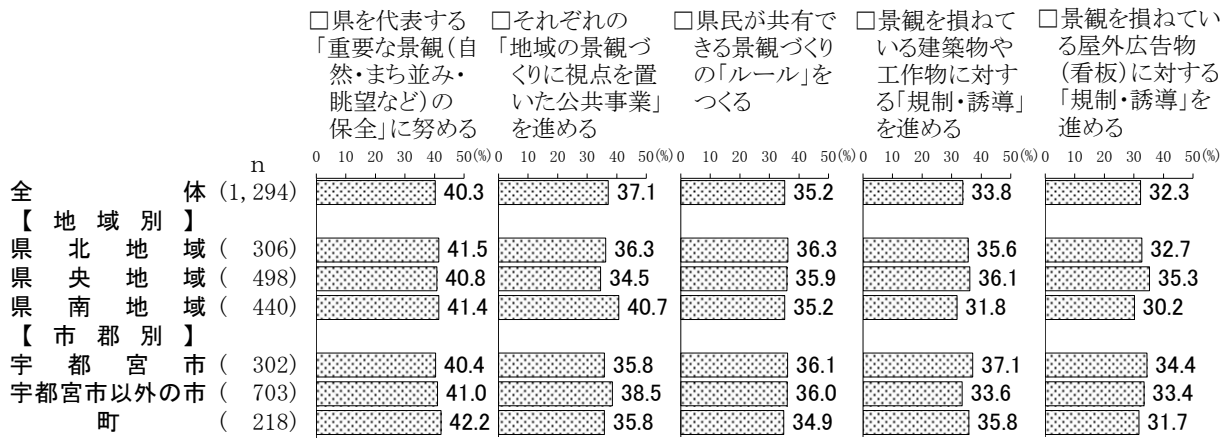
[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「県民が共有できる景観づくりの『ルール』をつくる」では〈労務職〉が44.5%と高くなっている。「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈その他の無職・学生〉が39.5%と高くなっている。

居住環境別でみると、「県民が共有できる景観づくりの『ルール』をつくる」では〈商店街〉が43.9%、「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈農山村〉が33.6%と、他の居住環境に比べて高くなっている。

[地域別・市郡別]



地域別でみると、「それぞれの『地域の景観づくりに視点を置いた公共事業』を進める」では〈県南地域〉が40.7%と、他の地域に比べて高くなっている。「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈県央地域〉が35.1%と高くなっている。

市郡別でみると、「県民の景観への理解を深め、意識を高めるための『啓発・広報活動』を行う」では〈宇都宮市〉が33.8%となっており、〈宇都宮市以外の市〉や〈町〉と比べて高くなっている。